

働き方改革や組織拡大・強化にむけて全国連帯でガンバロウ



兵庫県第107回臨時大会

3月23日、日本教育会館において、日教組第107回臨時大会が開催され、兵庫からは11人が代議員として2点にぶれ話された。

兵庫中央執行委員長は、開会あいさつにおいて、学校をめぐる働き方改革、年度当初における組織拡大・強化のとりくみを提起し、職場を原点に未来につなげる運動を力合わせをしてすすめていこうと語った。

今大会では、2018-新中央執行委員長が退任し、岡島执行部体制が誕生した。

日教組第107回臨時大会

冒頭、川原中央執行委員長があいさつで、昨年7月に兵教組70周年、教育文化研究所設立40年を迎えたことについてふれた。また、「この10年で組合員の約半数が入れ替わり、次の時代を担う青年層にこれまでの運動や教育研究活動をしっかりと語り継ぎ、「組合活動の見える化」運動をすすめていかなければならぬ」と語った。

そして、討議の参考として2点にぶれ話された。

1点目は、「教職員の自主性・創造性が發揮できる職場づくりのとりくみについて、過去に起きた事件の背景をもとに能力主義・管理主義に陥ることなく、お互いの理解や信頼関係をつくりあげていくことが重要である」とした。

2点目は、学校における「働き方改革」について、「学校現場の大胆な業務削減や36協定の締結、限定4項目」において、前参議院議員(兵政連会長)のみずおか俊一さんが、次期参議院議員選挙予定候補者として絶対多数で推薦決定され、議員選挙候補推薦に登録された。「安倍政権による憲法改正に断固反対し、不立候補する方向性が確認された。」
立憲民主党から比例代表で立候補する方向性が確認された。

3月23日、日本教育会館において、日教組第107回臨時大会が開催され、兵庫からは11人が代議員として2点にぶれ話された。

兵教組は、3月29日~30日の2日間、ラッセホールで新旧地域組合三役合同会議を開催した。

年度当初のとりくみや職員紹介、質疑・応答、討論がおこなわれ、新年度へむけての意思統一をはかった。



2018年度兵教組運動がスタート!



発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合
代表者 川原芳宏
編集人 小西宏和
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2018/4/1

No. 1949

2面

・「どもの詩と絵」第38集
表彰式・発刊集会

2日目にわたり、当面する年度当初のとりくみなど

見直しをすすめるとともに、罰則付き時間外労働の上限規制を導入すること

をもとめる必要性を訴え

た。また、「時間は有限の資源である」という当たり前の原則に立ち、教育施策への転換をもとめていく必要がある」とした。

あいさつの最後に、組織拡大・強化にむけて、2018年度の新規採用教職員の加入をはかるため、着任までの働きかけを、例年以上に丁寧におこなうようもとめた。

2日目には、福利厚生団体による事業説明や特別講演として学校厚生会50周年の話をはじめ、各地域組合・専門部代表による決意表明がおこなわれた。

2日間にわたり、当面する年度当初のとりくみなど

見直しをすすめるとともに、罰則付き時間外労働の

上限規制を導入すること

をもとめる必要性を訴え

た。また、「時間は有限の資源である」という当たり前の原則に立ち、教育施策への転換をもとめていく必

要がある」とした。

あいさつの最後に、組織拡大・強化にむけて、2018年度の新規採用教職員の加入をはかるため、着任までの働きかけを、例年以上に丁

